

1 教育・保育事業

計画期間:令和2年度～令和6年度

事業内容	◆1号は、平日日中において、満3歳以上の児童で保育の必要がないときに認定する。							
1号認定 (満3歳以上/保育の必要なし) 【単位:人】 【各年度4月1日現在の数値】	区分	R2	R3	R4	R5	R6	R7(参考)	
	計画	量の見込み	1,761	1,615	1,507	1,421	1,334	839
		確保方策	1,969	1,969	1,969	1,939	1,939	1,532
		差引	208	354	462	518	605	693
	実績	量	1,617	1,484	1,360	1,184	999	896
		確保方策	1,617	1,484	1,360	1,184	999	896
差引		0	0	0	0	0	0	
令和6年度の確保方策	幼児教育を希望する児童(教育標準時間認定)を上回る利用定員数が確保されており、現状において余裕があるため新たな確保方策は講じていない。							
令和6年度の評価	認定こども園及び市立幼稚園に対する教育需要量以上の受け皿(供給量)を確保できている。							
事業内容	◆2号は、平日日中において、満3歳以上の児童で保育の必要があるときに認定する。							
2号認定 (満3歳以上/保育の必要あり) 【単位:人】 【各年度4月1日現在の数値】	区分	R2	R3	R4	R5	R6	R7(参考)	
	計画	量の見込み	1,092	1,084	1,077	1,071	1,055	1,220
		確保方策	1,092	1,084	1,125	1,155	1,155	1,220
		差引	0	0	48	84	100	0
	実績	量	1,172	1,212	1,210	1,305	1,276	1,241
		確保方策	1,173	1,183	1,188	1,256	1,252	1,238
差引		1	▲ 29	▲ 22	▲ 49	▲ 24	▲ 3	
令和6年度の確保方策	必要量を確保できている。							
令和6年度の評価	待機児童は解消されている。引き続き必要な保育量を確保する。							
事業内容	◆3号は、平日日中において、満3歳未満の児童で保育の必要があるときに認定する。							
3号認定 (0歳) 【単位:人】 【各年度4月1日現在の数値】	区分	R2	R3	R4	R5	R6	R7(参考)	
	計画	量の見込み	98	103	107	109	109	56
		確保方策	122	122	131	131	131	121
		差引	24	19	24	22	22	65
	実績	量	90	87	92	76	59	70
		確保方策	88	93	88	68	56	67
差引		▲ 2	6	▲ 4	▲ 8	▲ 3	▲ 3	
(1・2歳) 【単位:人】 【各年度4月1日現在の数値】	区分	R2	R3	R4	R5	R6	R7(参考)	
	計画	量の見込み	671	671	674	680	680	575
		確保方策	671	671	674	680	680	653
		差引	0	0	0	0	0	78
	実績	量	707	681	663	664	634	618
		確保方策	624	628	623	622	598	596
差引		▲ 83	▲ 53	▲ 40	▲ 42	▲ 36	▲ 22	
令和6年度の確保方策	必要量を確保できている。							
令和6年度の評価	待機児童はほぼ解消されている。年度途中入所にも十分対応できるよう、引き続き必要な保育量を確保する。							

2 地域子育て支援事業

1	事業内容	◆保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生児童たちに、遊びや生活の場を提供し、その健全な育成を図る。							
	放課後児童健全育成事業 【単位:人】 【各年度4月1日現在の数値】	区分	R2	R3	R4	R5	R6	R7(参考)	
		計画	量の見込み	1,043	1,105	1,136	1,153	1,167	1,118
			確保方策	1,043	1,105	1,136	1,153	1,167	1,118
			差引	0	0	0	0	0	0
		実績	量	1,025	985	1,036	1,036	1,070	1,116
			確保方策	1,025	985	1,036	1,036	1,070	1,116
	差引		0	0	0	0	0	0	
	令和6年度の確保方策	20小学校区で32クラブを引き続き開設し、うち4クラブは、令和元年度から指定管理者制度を導入している。定員を超過したクラブは近隣クラブに送迎を行っている。							
	令和6年度の評価	令和6年度からタクシーに加えて新たにバス3台を導入し、近隣クラブへの送迎により、量の確保を行った。令和6年度から民設民営児童クラブへの運営費支援を開始し、待機児童の抑制に務めている。							
2	事業内容	◆保護者の就労状況等により、保育所等の通常の保育時間を超え、延長して保育を実施する。							
	時間外保育事業(延長保育) 【単位:人/年】	区分	R2	R3	R4	R5	R6		
		計画	量の見込み	1,228	1,226	1,226	1,227	1,216	
			確保方策	1,228	1,226	1,226	1,227	1,216	
			差引	0	0	0	0	0	
		実績	量	1,111	1,114	1,231	1,323	1,279	
			確保方策	1,111	1,114	1,231	1,323	1,279	
	差引		0	0	0	0	0		
	令和6年度の確保方策	保護者の就労状況等により、保育所等の通常の保育時間を超え、延長して保育を実施。							
	令和6年度の評価	市内すべての保育所(10園)、認定こども園(13園)、小規模保育(6施設)にて、時間外保育事業(延長保育)を実施し、需要(量の見込み)に対応することができた。							
3	事業内容	◆保護者の入院や育児疲れなどにより一時的に養育困難となった児童について、児童福祉施設で保護者に代わって、一定期間必要な保護を行う。							
	子育て短期支援事業(ショートステイ) 【単位:人日/年】	区分	R2	R3	R4	R5	R6		
		計画	量の見込み	38	37	36	35	34	
			確保方策	38	37	36	35	34	
			差引	0	0	0	0	0	
		実績	量	1	0	14	21	4	
			確保方策	0	0	14	21	4	
	差引		▲1	0	0	0	0		
	令和6年度の確保方策	全国的に一時保護委託が増え、施設の受け入れ枠が埋まる中、枠を確保するため、施設との調整に努めた。							
	令和6年度の評価	希望された期間に施設を確保することが困難な状況があるが、今年度は希望通りに対応することができたものとする。							

4	事業内容	◆地域の身近なところで、子育て中の親子が気軽に交流し、子育て相談ができる場所を提供する。						
	地域子育て支援拠点事業 【単位：人日／年】	区分	R2	R3	R4	R5	R6	
		計画	量の見込み	24,141	23,160	22,473	21,945	21,331
			確保方策	24,141	23,160	22,473	21,945	21,331
			差引	0	0	0	0	0
		実績	量	8,686	9,643	11,306	17,211	18,616
確保方策			8,686	9,643	11,306	17,211	18,616	
差引	0		0	0	0	0		
令和6年度の確保方策	多世代交流館子育て交流ひろば、駅前子育て交流ひろば、地域子育て支援センター、ウッディ子育て交流ひろばの4施設での事業を継続することにより、需要への対応を図った。							
令和6年度の評価	コロナ禍の人数制限等が解除になって以降、需要量が上がっているが、市内4つの施設でニーズに対応することができた。							
5	事業内容	◆幼稚園等で通常の保育時間を超え、延長して子どもを預かる。						
	一時預かり事業 (幼稚園型) 【単位：人日／年】	区分	R2	R3	R4	R5	R6	
		計画	量の見込み	60,878	56,905	54,388	52,465	50,258
			確保方策	60,878	56,905	54,388	52,465	50,258
			差引	0	0	0	0	0
		実績	量	51,770	60,440	53,209	58,680	51,809
確保方策			51,770	60,440	53,209	58,680	51,809	
差引	0		0	0	0	0		
令和6年度の確保方策	幼稚園等で通常の保育時間を超え、延長して子どもを預かった。							
令和6年度の評価	市立幼稚園(6園)、認定こども園(13園)にて、一時預かり事業を実施することにより、需要(量の見込み)に対応することができた。							
6	事業内容	◆保護者の出産やリフレッシュ、短期のパートタイム就労等、子育て家庭のニーズに合わせて、保育所等で子どもを一時的に預かる。						
	一時預かり事業 (保育所等) 【単位：人日／年】	区分	R2	R3	R4	R5	R6	
		計画	量の見込み	4,695	4,337	4,072	3,854	3,634
			確保方策	4,695	4,337	4,072	3,854	3,634
			差引	0	0	0	0	0
		実績	量	3,313	3,789	3,214	3,017	3,018
確保方策			3,313	3,789	3,214	3,017	3,018	
差引	0		0	0	0	0		
令和6年度の確保方策	子育て家庭のニーズに合わせて一時預かり事業を実施することにより、需要(量の見込み)への対応を図った。							
令和6年度の評価	保育所(3園)、認定こども園(1園)にて実施し、需要(量の見込み)に対応した。							

7	事業内容	◆病中や病後の子どもを保護者が家庭で保育できない場合に、診療所に付設された専用スペース等において看護師と保育士が医師と連携しながら保育する。						
	病児保育事業 【単位:人日/年】	区分	R2	R3	R4	R5	R6	
		計画	量の見込み	364	352	53	73	100
			確保方策	364	352	53	73	100
			差引	0	0	0	0	0
実績		量	53	66	9	85	115	
		確保方策	53	66	9	85	115	
	差引	0	0	0	0	0		
令和6年度の確保方策	令和5年3月にふらっと・クローバー直営で開所後、令和6年度も環境改善や人員確保等を行い、利用定員を4名へと引き上げた。							
令和6年度の評価	引き続き保護者のニーズに合った持続可能な事業の充実を検討する。							
8	事業内容	◆子どもを預かってほしい保護者(依頼会員)と、預かることのできる人(協力会員)とが育児の相互援助活動を行う会員制のしくみ。						
	ファミリー・サポート・センター 【単位:人日/年】	(就学前)						
		区分	R2	R3	R4	R5	R6	
		計画	量の見込み	1,681	1,598	1,537	1,488	1,432
			確保方策	1,681	1,598	1,537	1,488	1,432
			差引	0	0	0	0	0
		実績	量	799	544	1,069	917	1,529
			確保方策	799	544	1,069	917	1,529
			差引	0	0	0	0	0
		(小学生)						
		区分	R2	R3	R4	R5	R6	
		計画	量の見込み	1,134	1,137	1,118	1,088	1,054
			確保方策	1,134	1,137	1,118	1,088	1,054
差引	0		0	0	0	0		
実績	量	682	866	1,044	1,108	953		
	確保方策	682	866	1,044	1,108	953		
	差引	0	0	0	0	0		
令和6年度の確保方策	事務局のアドバイザーが、依頼会員と、依頼会員のニーズに対応可能な協力会員をマッチングさせることにより、需要(量の見込)への対応を図った。							
令和6年度の評価	保育施設等までの送迎や、習い事送迎などを中心に需要が高まったが、全てのニーズに対応することができた。							

9	事業内容	子育て家庭のニーズに合わせて、保育所・認定こども園などの施設や、地域の子育て支援などから必要な支援を選択して利用できるよう、情報提供や相談・援助を行う。						
	利用者支援事業 【単位：か所】	区分	R2	R3	R4	R5	R6	
		計画	量の見込み	3	4	4	5	5
			確保方策	3	4	4	5	5
	実績	差引	0	0	0	0	0	
令和6年度の確保方策	令和6年度に、妊産婦とその子どもを対象とする「母子保健型」2か所と、子どもとその家庭及び妊産婦等を対象とする「市町村子ども家庭総合支援拠点」1か所を統合し、全ての妊産婦、子育て家庭、子どもを対象に一体的に相談支援を行う「こども家庭センター型」として強化整備した。							
令和6年度の評価	こども家庭センターの体制整備および基本型・特定型の安定的な運営が実施できた。							
10	事業内容	◆妊婦が健やかな妊娠期を過ごし、安心して出産を迎えることができるようにするための健康診査。						
	妊婦健康診査 【単位：人・回／年】	区分	R2	R3	R4	R5	R6	
		計画	量の見込み	1,121	1,090	1,059	1,015	972
			確保方策	1,121	1,090	1,059	1,015	972
	実績	差引	0	0	0	0	0	
健診回数	7,847	7,630	7,413	7,105	6,804			
令和6年度の確保方策	三田市に住民登録のある妊婦を対象に、一部助成を行い、妊婦健康診査の受診にかかる需要(量の見込み)への対応を図った。							
令和6年度の評価	助成券及び償還払いの2つ方式を併用して健診費用の一部助成を実施し、受診者のニーズに対応した。							
11	事業内容	◆乳児のいる家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や子育ての相談に応じる。(新生児訪問、こんにちは赤ちゃん事業)						
	乳幼児全戸訪問事業 【単位：人／年】	区分	R2	R3	R4	R5	R6	
		計画	量の見込み	719	699	679	651	623
			確保方策	719	699	679	651	623
	実績	差引	0	0	0	0	0	
量	595	623	506	478	453			
確保方策	543	578	486	475	447			
差引	▲ 52	▲ 45	▲ 20	▲ 3	▲ 6			
令和6年度の確保方策	利用者の希望により、新生児訪問事業(主に第1子やおおむね生後2か月までの乳児のいる家庭に保健師等が訪問)及び、こんにちは赤ちゃん事業(第2子以降やおおむね生後4か月までの乳児がいる家庭に対し、子育て経験のある訪問員が訪問)を継続して実施し、需要(量の見込み)への対応を図った。							
令和6年度の評価	令和5年3月より出産・子育て応援給付金事業(乳幼児全戸訪問時の面談後に、子ども1人につき5万円を給付)と一体的に実施することにより、乳幼児全戸訪問率は98.7%と高い水準を達成できた。							

12	事業内容	◆育児や家事が困難となっている家庭を訪問し、援助活動を行う。						
	養育支援訪問事業	区分	R2	R3	R4	R5	R6	
		計画	量の見込み	32	33	34	35	36
			確保方策	32	33	34	35	36
			差引	0	0	0	0	0
		実績	量	15	8	10	10	—
			確保方策	15	8	10	10	—
	差引		0	0	0	0	—	
	令和6年度の確保方策	—（法改正により家事育児支援事業が「子育て世帯訪問支援事業」へ移行）						
	令和6年度の評価	—（法改正により家事育児支援事業が「子育て世帯訪問支援事業」へ移行）						